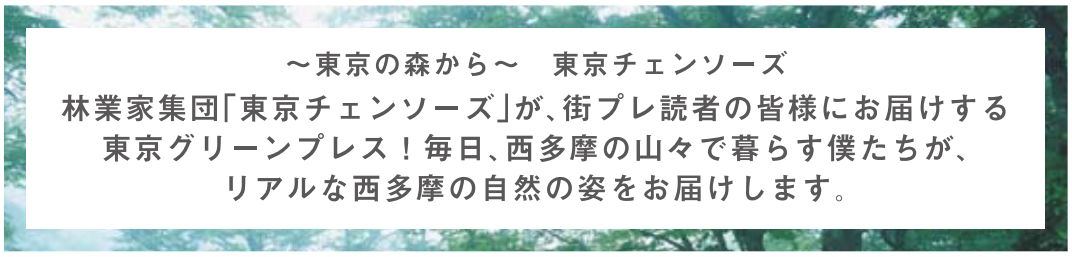
東京の山を守り、水を守り、自然を守る
TOKYO GREEN Press
Presented by　東京チェンソーズ



～東京の森から～　東京チェンソーズ
林業家集団「東京チェンソーズ」が、街プレ読者の皆様にお届けする
東京グリーンプレス！毎日、西多摩の山々で暮らす僕たちが、
リアルな西多摩の自然の姿をお届けします。

秋川流域

森林再生で、明るく心地よい森に生まれ変わる

突然ですが、皆様は山歩きされますか？西多摩には多くの山があり、四季それぞれにぎわいを見せています。私たち東京チェンソーズの地元・檜原なら、浅間尾根や大岳山、三頭山がとくに人気が高いようです。

山道を歩いていて、スギやヒノキの林を目にすることもあるかと思います。その林は、どんな様子でしたか？し、明るかったですか？

もし明るい林を見かけましたら、その中をすこし覗きこんでみてください。切り株が見つかれば、そこは人の手が入った間伐をした林です。間伐をすれば、林内に光がふりそそぎ、風がとおり、鳥も多くやってくる。そんな気持ちのよい林に生まれ変わります。

東京都環境局が主導する事業に「森林再生事業」というものがあります。スギ・ヒノキの人工林を対象に本数でおおむね30パーセント以上を間伐するというものです。下草を生やし、土砂災害に強い森林をつくることが目的なのです。また伐った木は転がらないよう切り株などにかけ、等高線上に横伏せします。こうすることでも、土砂の流失を防いでくれるのです。

東京チェンソーズはあきる野市と檜原村で、こうした事業の間伐なども行なっています。皆様が散策される登山道。そのすぐ近くでの作業も多いので、「もしや東京チェンソーズでは？」と思われたなら、ぜひ声をかけてみてください。少しの時間、西多摩の山の話、林業の話を皆様にお届けできればと思います。

ではまた来月、別の森からお便りいたします。お楽しみに！

間伐の作業は、土砂崩れを防ぐほか、光が土に差し込む自然環境に優しい山を作ります

間伐作業中の様子

間伐作業後の様子

今日も森にいます
株式会社
東京チェンソーズ
住所 西多摩郡檜原村3840−2
TEL 042-588-5613